



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日  
東

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所  
コード番号 5017 URL <https://www.foc.co.jp/>  
代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)山本 重人  
問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)鈴木 龍司 (TEL)03(5462)7803  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	535,893	△21.2	8,134	206.6	10,126	357.4	8,768	385.8
2023年3月期第3四半期	680,237	115.3	2,653	△48.8	2,213	△54.1	1,805	△66.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 13,047百万円(56.0%) 2023年3月期第3四半期 8,363百万円(19.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 113.64	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	円 銭 23.41	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 411,147	百万円 83,932	% 20.4
2023年3月期	百万円 336,985	百万円 71,658	% 21.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 83,735百万円 2023年3月期 71,476百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2024年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	728,300	△14.4	5,700	13.3	7,900	67.9	6,900	93.0	89.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	78,183,677株	2023年3月期	78,183,677株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,020,911株	2023年3月期	1,020,910株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	77,162,767株	2023年3月期3Q	77,120,097株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるドバイ原油価格は、期初1バレルあたり84ドル台で始まりましたが、4月初旬にOPECプラスによる追加減産によって原油需給の逼迫懸念が高まり、原油相場は上昇しました。しかし、その後は欧米の中央銀行による追加利上げや米国地銀の経営破綻に伴う金融システムに対する不安の広がりなどにより、景気後退懸念が増大したことから、6月には71ドル台まで下落しました。その後、サウジアラビアとロシアが自主的な追加減産の実施を表明したことで7月以降は上昇トレンドを形成し、さらに9月には、当該両国が自主減産を2023年末まで延長することを表明し、より一層原油需給の引き締まりが意識されたことから、90ドルを超える水準で推移しました。10月に入ると、イスラエルとイスラム武装組織のハマスとの間で軍事衝突が発生し、地政学的リスクの高まりが強く意識されたものの、両者の衝突が周辺国の原油供給に与える影響が限定的であったことから、すぐさま下落に転じました。その後は中国等の景況指数の悪化を受け、原油需給の緩みが意識された結果、大きく下落する展開となり、77ドル台で当四半期の取引を終了しました。この結果、期中平均では82ドル台となりました。

一方、期初1ドル133円台前半で始まった為替相場は、4月の金融政策決定会合において日銀が金融緩和策継続の方針とイールドカーブ・コントロールの維持を決定し、それ以降も方針が維持されたことや、米国においてFOMCによるインフレ抑制のための利上げサイクルが長期化したことを背景に、11月には151円台まで円安が進みました。その後は日銀による政策修正観測が高まったことや、米国において利上げサイクルの終了が示唆されたことを背景に円高に振り戻す推移となり、期末は141円台後半で終了しました。この結果、期中平均は143円台前半となりました。

このような事業環境のもと、袖ヶ浦製油所での原油処理量は、小規模定期修理を実施したことなどにより、前年同期比739千キロリットル減の5,147千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、834千キロリットル減の5,393千キロリットルとなりました。

こうした状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、小規模定期修理に伴う販売数量の減少等により、前年同期比1,443億円減収の5,358億円となりました。損益につきましては、在庫影響（総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響）が63億円の原価押し下げ要因（前年同期は11億円の原価押し下げ要因）と前年同期比で拡大し、営業利益は81億円（前年同期比54億円増益）となりました。経常利益は、持分法による投資利益を18億円、為替差益を14億円計上したことなどにより、101億円（前年同期比79億円増益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は87億円（前年同期比69億円増益）となりました。

なお、当期の在庫影響を除いた実質ベースの損益は、小規模定期修理の影響はあったものの、製品マージンが堅調に推移したことなどにより、営業利益相当額は17億円（前年同期比2億円増益）、経常利益相当額は37億円（前年同期比26億円増益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ706億円増加の2,816億円となりました。主な要因は、棚卸資産の増加375億円、受取手形及び売掛金の増加326億円であります。

##### (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ34億円増加の1,294億円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加48億円、機械装置及び運搬具の減少10億円であります。

##### (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ644億円増加の2,910億円となりました。主な要因は、短期借入金の増加343億円、買掛金の増加254億円であります。

##### (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ25億円減少の361億円となりました。主な要因は、長期借入金の減少27億

円であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ122億円増加の839億円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加79億円、為替換算調整勘定の増加37億円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回予想(2023年11月10日発表)以降の業績の動向等を勘案し、通期の業績予想を修正いたします。

今回の修正見通しの前提として、第4四半期のドバイ原油価格は75ドル/バレル(前回予想同85ドル/バレル)、同じく為替レートは145円/ドル(前回予想同145円/ドル)といたしました。

売上高につきましては、前回予想比85億円減収の7,283億円となる見通しです。

損益につきましては、原油価格の想定を引き下げたことによる在庫影響の原価押し下げ効果の縮小を見込んでおり、営業利益57億円(前回予想比79億円減益)、経常利益79億円(同69億円減益)、親会社株主に帰属する当期純利益69億円(同52億円減益)となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた実質ベースの損益は、営業利益相当額で19億円(前回予想比18億円増益)、経常利益相当額で41億円(同28億円増益)となる見通しです。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,463	13,745
受取手形及び売掛金	69,461	102,142
有価証券	-	400
棚卸資産	119,288	156,863
未収入金	1,929	5,084
その他	7,827	3,412
流動資産合計	210,970	281,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,056	11,646
油槽（純額）	2,651	2,566
機械装置及び運搬具（純額）	29,862	28,826
土地	51,541	51,541
建設仮勘定	1,152	1,285
その他（純額）	590	574
有形固定資産合計	97,855	96,441
無形固定資産		
ソフトウェア	478	520
その他	134	134
無形固定資産合計	612	654
投資その他の資産		
投資有価証券	26,169	31,010
長期貸付金	641	641
退職給付に係る資産	761	728
その他	380	430
貸倒引当金	△407	△407
投資その他の資産合計	27,545	32,403
固定資産合計	126,014	129,499
資産合計	336,985	411,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	35,792	61,204
短期借入金	130,316	164,703
1年内返済予定の長期借入金	10,949	9,619
未払金	26,402	22,449
未払揮発油税	16,482	23,981
未払法人税等	213	1,466
賞与引当金	336	149
その他	6,052	7,449
流動負債合計	226,545	291,023
固定負債		
長期借入金	19,793	17,091
繰延税金負債	8,854	9,132
特別修繕引当金	2,387	2,685
修繕引当金	5,080	4,818
退職給付に係る負債	1,740	1,808
役員退職慰労引当金	23	24
その他	900	629
固定負債合計	38,780	36,190
負債合計	265,326	327,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	25,495	25,495
利益剰余金	18,653	26,650
自己株式	△1,271	△1,271
株主資本合計	67,345	75,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	842	1,095
繰延ヘッジ損益	155	462
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	2,571	6,327
退職給付に係る調整累計額	560	506
その他の包括利益累計額合計	4,130	8,393
非支配株主持分	182	197
純資産合計	71,658	83,932
負債純資産合計	336,985	411,147

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	680,237	535,893
売上原価	674,021	524,257
売上総利益	6,216	11,635
販売費及び一般管理費	3,563	3,501
営業利益	2,653	8,134
営業外収益		
受取利息	41	161
受取配当金	172	93
為替差益	1,070	1,452
持分法による投資利益	1,854	1,804
タンク賃貸料	162	155
その他	216	246
営業外収益合計	3,518	3,914
営業外費用		
支払利息	3,268	1,261
タンク賃借料	159	157
その他	530	503
営業外費用合計	3,958	1,922
経常利益	2,213	10,126
特別利益		
固定資産売却益	0	9
特別利益合計	0	9
特別損失		
固定資産除却損	23	6
リース解約損	-	0
特別損失合計	23	6
税金等調整前四半期純利益	2,190	10,129
法人税、住民税及び事業税	369	1,207
法人税等調整額	2	136
法人税等合計	372	1,344
四半期純利益	1,818	8,785
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,805	8,768



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,818	8,785
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△14	252
繰延ヘッジ損益	509	306
為替換算調整勘定	1,166	683
退職給付に係る調整額	△80	△53
持分法適用会社に対する持分相当額	4,964	3,072
その他の包括利益合計	6,545	4,262
四半期包括利益	8,363	13,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,350	13,030
非支配株主に係る四半期包括利益	13	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。